

平成二九年度卒業論文題目

阿形 尚 「岡崎敬語調査」に見る「カラ」「ノデ」の異同

池幡 和之 『韓非子』における老子思想の受容

一木フミホ オノマトペの性質と後接成分との関わりについての研究
——新しいオノマトペを中心に——

梅津 舞子 『源氏物語』における明石
——住吉神との関わりに着目して——

太田あゆみ 現代日本語の意味変化の受容に関する研究
——「誤用」に着目して——

岡本 夏実 振り返りの活動を重視したダイベート
——国語科教科書の分析をもとに——

金沢 真理 〈物語〉の在処
——池澤夏樹『真昼のプリニウス』論——

亀井 花野 戦場と記録
——開高健『輝ける闇』への展開——

河村 有紗 多様化する共生社会のためのクリティカル・リーディングによる読解実践の提案

河本 真彦 〈愛〉の形成と転移
——村上春樹『ノルウェイの森』論——

岸本 真由 「書くこと」を意識した書写教育について
——手紙文教材を中心に——

喜多 瑛優 上田萬年の漢文教育廃止論に関する研究

黒川 注 聴覚障害幼児における言語指導の提案
——学級リーダーに着目して——

澤田 夏美 歌語としての星
——詠み合わされる語に着目して——

芝崎 真聡 戦後国語教育における「伝記教材」の減衰に
ついての考察
——中学校国語科学習指導要領および
中学校国語教科書に着目して——

寺田 昇平 文章冒頭部におけるレトリックの分類
——社説における各新聞社の表現の違いに着目して——

中村 亮太 児童文化としての「仮面ライダー」シリーズに
おけるジェンダー表象

西村 元氣 中央式京都市型アクセント話者における2拍名詞
アクセント型のゆれについて

藤田 知久 太宰治『パンドラの匣』論
——健康道場の〈戦後〉——

本田 拓巳 生徒の情報機器活用を想定した国語科教育
——情報の視覚化に着目した

プレゼンテーション指導——

牧平 結菜 『源氏物語』朧月夜の機能
——『伊勢物語』六十九段との関係に着目して——

松本 大輝 就職活動における面接に関する研究

安岡 紗知 『源平盛衰記』における巴
——延慶本・長門本との比較を通して——

吉岡 史朗 「読むこと」と関連させた人権教育
——様々な課題に立ち向かう人権感覚を養う——

平成二九年度修士論文題目

明尾 香澄 「聞くこと」の研究
——機能的なメモを用いて——

住吉 雅子 中上健次『岬』論
——反転する家族——

長谷川 諒 監獄からの物語
——葉山嘉樹「淫売婦」における記述と体験——

諸正 菜摘 吉屋信子「安宅家の人々」における〈家〉と女たち
——映画版を補助線として——

吉田 尚平 『義孝集』の研究
——巻末増補部分に着目して——